TOSHIBA

東芝換気扇（ダクト用）取付説明書

販売店・工事店さま用

中間取付形

形名

低騒音タイプ		消音タイプ	
DVC-18H	DVC-20H	DVC-18HN	DVC-20HN
DVC-23H	DVC-25H	DVC-23HN	DVC-25HN

●この換気扇（ダクト用）の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
●取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。
●この製品には専用スイッチ他、別売のシステム部材が必要です。
●別冊の取扱説明書およびこの取付説明書は工事完了後お客様にお渡しください。

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、※物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

図記号	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「電源を切る」を示します。

⚠ 警告

改造禁止	**改造はしないこと** 火災・感電・けがの原因になります。
分解・修理禁止	**修理技術者以外の人は、分解・修理（※）をしないこと** 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
接触禁止	**金属製ダクトがメタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触させないこと** 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
アースを接続する	**アースは確実に取り付けること** 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
使用禁止	**内釜式風呂が設置された住宅では使わないこと** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
給気を確実に	**自然排気型ストーブがある部屋に据え付けるときは、ドアなどに空気取り入れ口を付けること** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
交流100V使用	**電源は交流100Vを使うこと** 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。

⚠注意

電気工事士が実施	**電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行うこと** 電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼はお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
確実に取り付ける	**強度のある所に確実に取り付けること** 落下により、けがをする恐れがあります。
取付禁止	**炎が接近したり、当たる恐れのある所には取り付けないこと** 火災の恐れがあります。
使用禁止	**浴室など湿気の多い所では使わないこと** 火災・感電の恐れがあります。
取付禁止	**浴室内には壁スイッチを取り付けないこと** 火災・感電の恐れがあります。
確実に取り付ける	**給排気グリルなどは確実に取り付けること** 落下により、けがをする恐れがあります。

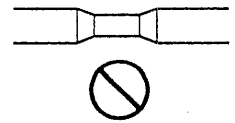
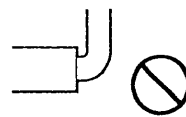
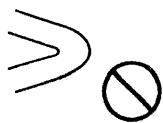
お願い

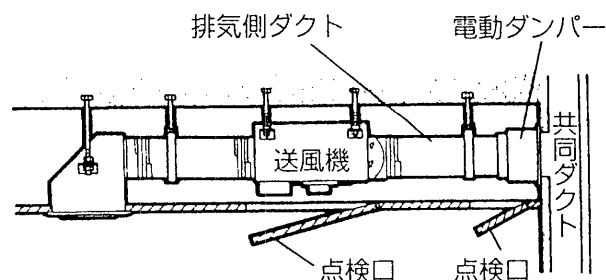
●高温（40℃以上）になるところに取り付けないでください。
(高温では、温度ヒューズが溶断して使えなくなります)
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1／100以上の傾斜をつけてください。
●排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐためのパイプフード（システム部材）などを取り付けてください。
●効果的な換気を行うため給気口または給気専用送風機を取り付けてください。
●次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

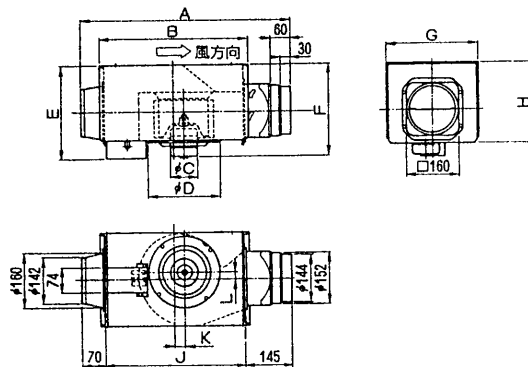
●極端な曲げ

●多数の曲げ

●吐出口のすぐそばでの曲げ

●しぼり

規　制

●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果すものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の電動ダンパーを取り付けて点検口を必ず設けてください。
●ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

外形寸法 (単位：mm)

■形　名
DVC-18H
DVC-20H
DVC-23H

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
DVC-18H	635	450	82	220	275	271	280	237	420	31	21
DVC-20H	635	450	98	220	275	277	280	237	420	31	21
DVC-23H	685	500	98	264	290	296	320	257	470	25	27

■形　名
DVC-25H

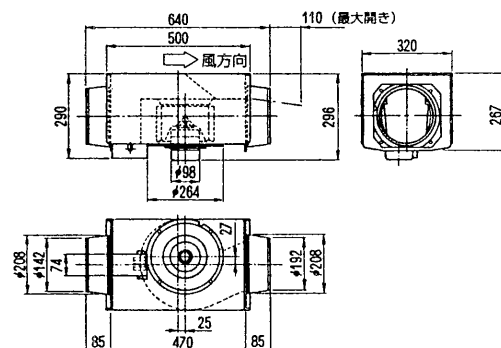
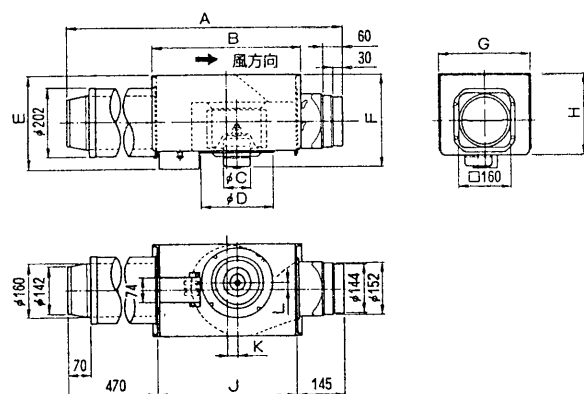
接続ダクト径
φ200

付属部品

天吊金具……………4個

天吊金具取付
ドリリングネジ……8本

排気側ダクト接続口……1個

ダクト接続口取付ネジ…10本

■形　名
DVC-18HN
DVC-20HN
DVC-23HN

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
DVC-18HN	1035	450	82	220	275	271	280	237	420	31	21
DVC-20HN	1035	450	98	220	275	277	280	237	420	31	21
DVC-23HN	1085	500	98	264	290	296	320	257	470	25	27

■形　名
DVC-25HN

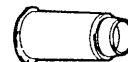
接続ダクト径
φ200

付属部品

天吊金具……………4個

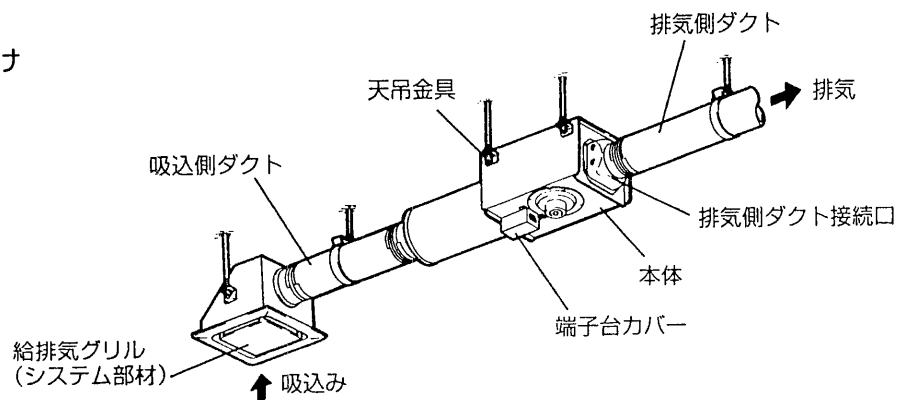
天吊金具取付
ドリリングネジ……8本

排気側ダクト接続口……1個

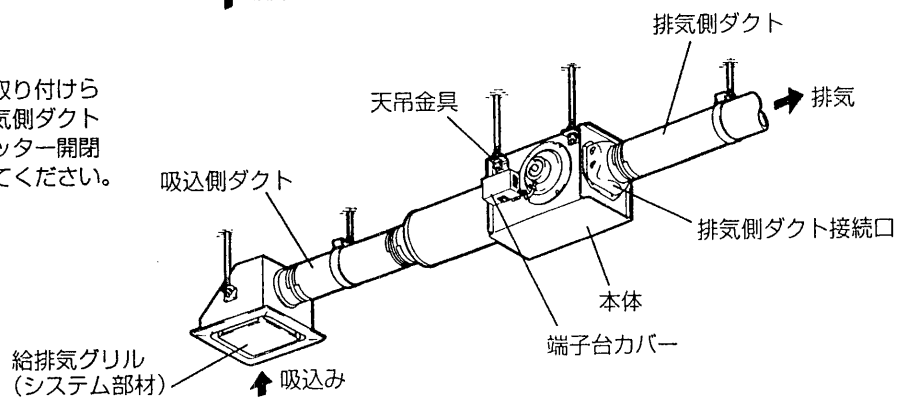
吸気側消音ダクト接続口…1個

ダクト接続口取付ネジ…10本

取付例

■標準取付け

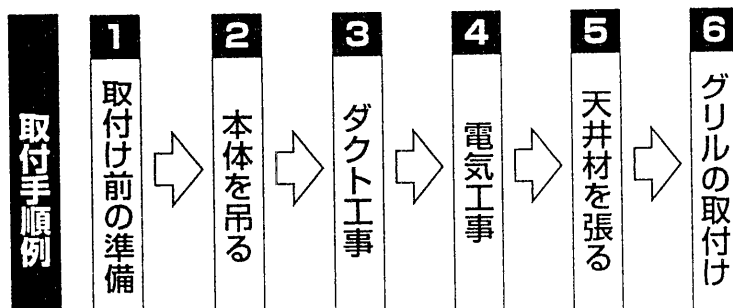
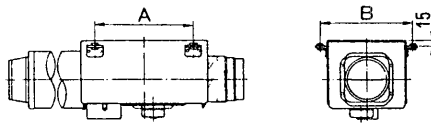
排気側ダクト
天吊金具
排気
吸込側ダクト
排気側ダクト接続口
本体
端子台カバー
給排気グリル
（システム部材）
吸込み

■横取付け

※天地を逆にも取り付けられますが、排気側ダクト接続口のシャッター開閉方向に注意してください。

排気側ダクト
天吊金具
排気
吸込側ダクト
排気側ダクト接続口
本体
端子台カバー
給排気グリル
（システム部材）
吸込み

取付方法

取付方法（つづき）

1 取付け前の準備

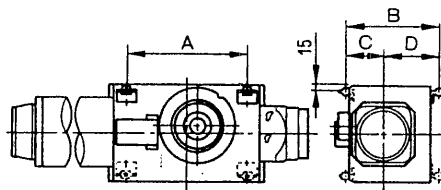
1

標準取付けの場合

1. 取付位置・壁排気穴位置・吸込グリル取付位置を決めます。
2. 吊りボルトを埋込みます。

●図を参照してあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋込みます。

（単位：mm）

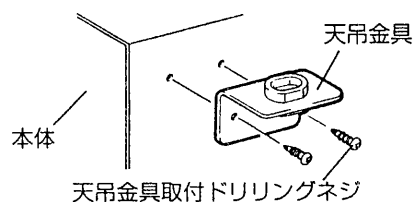
形　名	A	B
DVC-18·20H, 18·20HN	350	330
DVC-23H, 23HN DVC-25H, 25HN	400	370

横取付けの場合

（単位：mm）

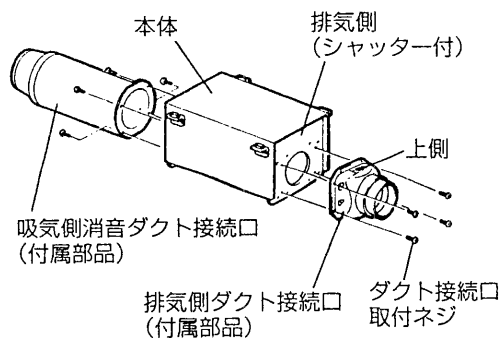
形　名	A	B	C	D
DVC-18·20H, 18·20HN	350	272	110	162
DVC-23H, 23HN	400	292	110	182
DVC-25H, 25HN	400	292	120	172

●左図の破線部に天吊金具を取り付けると天地逆取付けができます。

2

※イラストは標準取付けを示す。

天吊金具(4か所)を取り付けます。

●本体のへこみ部に天吊金具の穴2か所を合わせ付属の天吊金具取付ドリリングネジ(2本)で取り付けます。

3

吸気側消音ダクト接続口および排気側ダクト接続口を取り付けます。

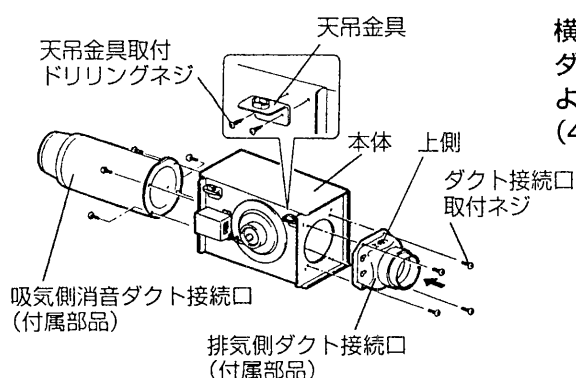
(DVC-18H,20H,23H,25Hは排気側ダクト接続口のみの取り付けとなります)

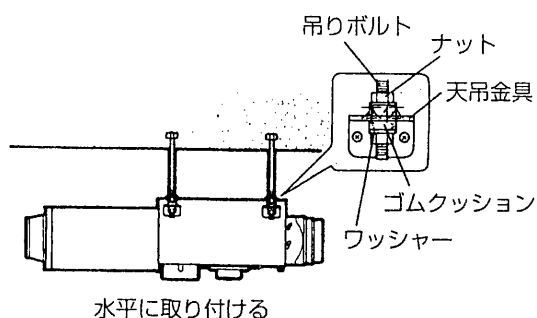
●排気側ダクト接続口のシャッターがスムーズに動くかを確認します。

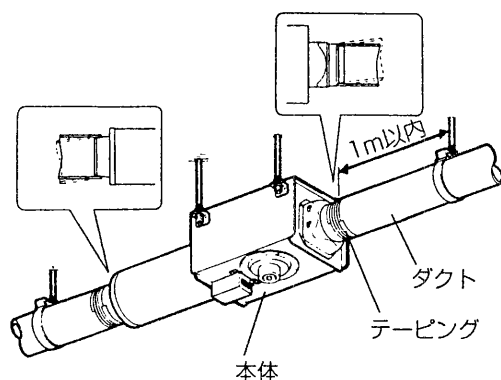
●排気側ダクト接続口の「上側」の印が上になるよう付属のダクト接続口取付ネジ4本で本体の「排気側(シャッター付)」の文字がある側に取り付けます。
(残りのネジは不要となります)

お願い

●排気側ダクト接続口は上・下を間違えないように取り付けてください。
(シャッターが閉まらず外風侵入の原因となります)

横取付けの場合

横取付けの場合も本体取付け状態で排気側ダクト接続口の「上側」の文字が上になるようにして付属のダクト接続口取付ネジ(4本)で取り付けます。

2 本体を吊る

本体が水平になるよう天吊金具を吊りボルトに取り付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

3 ダクト工事

1. 本体から壁排気穴・吸込グリル位置までダクト配管をします。
2. ダクトを吸気側および排気側ダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピング（市販品）してください。

●塩化ビニール管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。

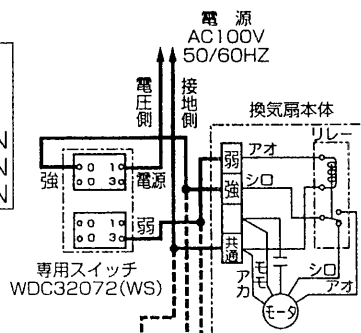
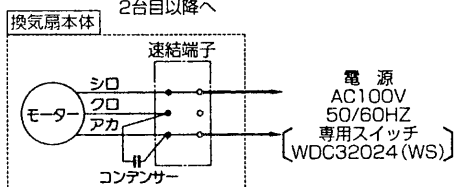
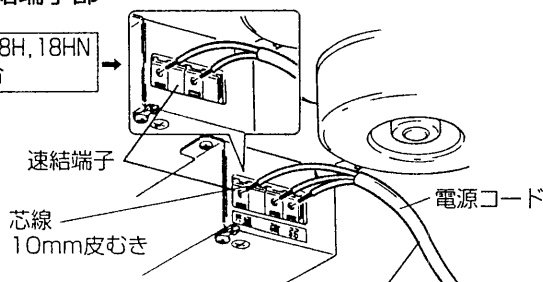
お願い

●ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

3. ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。

4 電気工事

専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

■結線図

1. **電源コード(適用電線　単線φ1.6,φ2, 例：ＶＶＦ)を本体の端子台(速結端子)に接続します。**

●芯線を10mm皮むきし、コード接続口に奥まで差し込みます。

2. **接続後、電源コードを引っ張りぬけないことを確認します。**

■速結端子部

DVC-18H, 18HN の場合

速結端子

芯線 10mm皮むき

電源コード

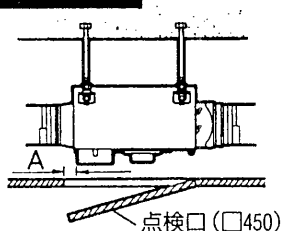
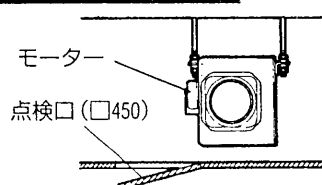
お願い

●DVC-20, 23, 25タイプは結線を間違えますとファンが回らなかったり、風量切換スイッチが弱でも強の運転をしたり、またリレーより異常音が発生することがありますので間違えのないよう結線してください。

●電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。

●電源コードを速結端子からはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン(赤色)を押しながら電源コードをひっぱってはずしてください。

●より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取り付けてから速結端子に確実に差し込んでください。

5 天井材を張る

標準取付けの場合

天井材を張ります。

●左図のように側面(モーター側)のメンテナンスができる位置に保守点検口が必要です。
(メンテナンスができなくなります)

(単位：mm)

形　名	A
DVC-18･20H, 18･20HN	0~70
DVC-23H, 23HN DVC-25H, 25HN	0~30

横取付けの場合

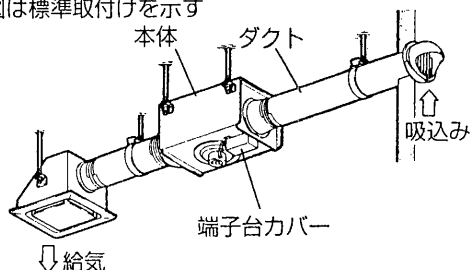
左図のようにモーターと端子台カバーがメンテナンスができる位置に保守点検口を設けてください。

6 グリルの取付け

システム部材のグリルを使用し、それに同梱の取付説明書を参照して取り付けてください。

給気用として取付ける場合

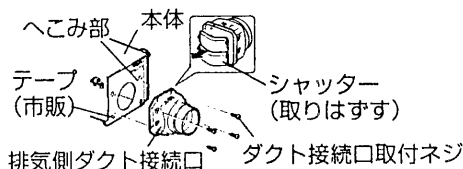
DVC-18H, 20H, 23H, 25Hの場合

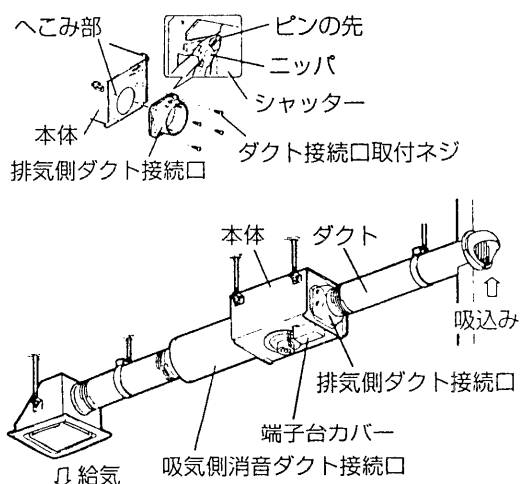
※図は標準取付けを示す

1. 左図のように端子台カバーを吸込み側にして本体を吊ります。
2. ダクト配管後、本体およびダクトの外周に断熱工事を施します。

お願い

- ●給気用として用いると吐出側騒音値は、排気時の吸込側騒音値に比べ約7〜8dB大きくなります。
- ●排気側ダクト接続口のシャッターは外風侵入防止の機能がなくなります。

DVC-18HN, 20HN, 23HN(φ150)の場合

※図は標準取付けを示す

DVC-25HN(φ200)の場合

1. ダクト接続口のシャッターを取りはずします。
   機種によりはずしかたが異なります。
   - ●図のようにシャッターのセンター部分を折り曲げて取りはずします。
     (DVC-18HN, 20HN, 23HN,)
   - ●図のようにシャッター両側のピンの先をニッパなどで切り取ってはずします。(DVC-25HN)
2. 排気側ダクト接続口を「吸気側(サイレンサー)」のラベルがある側に取り付けます。
3. 吸気側消音ダクト接続口は「排気側(シャッター)」のラベルがある側に取り付けます。
4. 使用しない取付用穴を全て市販のアルミテープでふさぎます。(風漏れ防止)
5. 本体の端子台カバーが吸込側にくるようにして本体を吊ります。
6. 本体および接続ダクトへの断熱工事を行ってください。

お願い

- ●給気用として用いると吐出側騒音値は、排気時の吸込側騒音値に比べ約7〜8dB大きくなります。

試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

東芝キヤリア株式会社
換気機器部
〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

TG0188-1